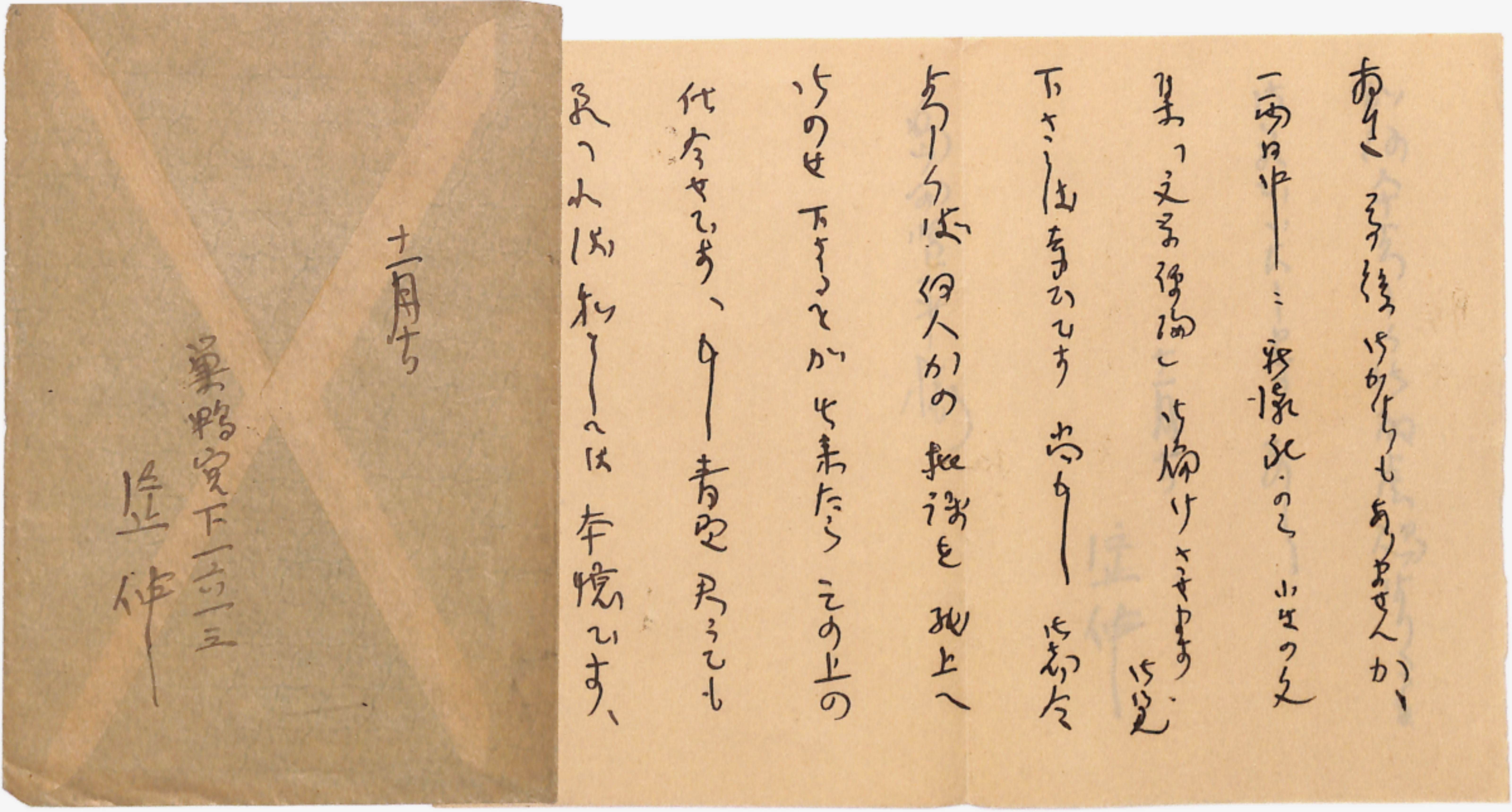

十一月廿七

巣鴨宮下一六一三
近仲

あれ　其後　はがきも　ありませんか、
一両日中ニ　移轉致しので　小生の文
集の文字御願し　お届けさせやます　お覚
下さい　僕　寄ひです　尚もし　お都合
よろしくば　何人かの　批評を　紙上へ
おのせ　下さることが　出来たら　その上の
仕合せです、　中也　青児　君らでも
及つ小僕　私としては　本懐です、